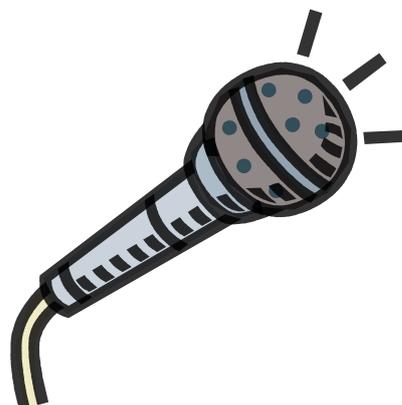


外国語活動指導案

Hi, friends! 1 Lesson 5

"What do you like?"

「友だちにインタビューしよう」



外国語活動指導案

京都市立〇〇〇〇小学校

指導者 学級担任 〇〇 〇〇

1 日 時 平成〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 (: ~ :)

2 学年・組 第5学年 〇 組 (〇 名)

3 場 所 5年 〇 組教室

4 単 元 “What do you like?” 「友だちにインタビューをしよう」
(“Hi, friends!” 1 Lesson 5 参照)

5 単元目標

- ・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
- ・色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。
- ・色や形の外来語は英語がもとになっていることや、日本語と英語の音の違いに気付く。

6 単元について

本単元では、色や形などの英語での言い方や What do you like? や I like ~. という表現に慣れ親しみ、単元のゴールとして友だちと互いの好きなもの、好きでないものを尋ね合うインタビュー活動を行う。インタビューした結果を一人一人が「〇〇ランキング」としてその結果をまとめることで、インタビューする内容によってその結果が異なる面白さも味わい、児童が意欲的に英語を使ってコミュニケーション活動を行えるようにしたい。

7 単元の評価規準

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 【関心・意欲・態度】

- ・友だちと互いの好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしている。

(2) 外国語への慣れ親しみ 【慣れ親しみ】

- ・色や形など、好きなものを尋ねたり答えたりしている。

(3) 言語や文化に関する気付き 【気付き】

- ・色や形などの外来語は英語がもとになっていることや、日本語と英語の音の違いに気付いている。

8 本単元における小小連携の視点

5年生では Lesson 5 を「小小連携共通単元」として位置付け、同中学校区の教員交流とテレビ会議システムを授業の中で活用し、複数の小学校が同じ指導案を共有して指導を進める。

外国語活動は、コミュニケーション能力の育成を目的としている。そこで、本単元では、教員同士の友好的な交流をテレビ会議システムで児童に提示することを通して、教員が英語を使うモデルとしてだけでなく、コミュニケーションのモデルとなるようにしたい。そして、単元の終末には、再びテレビ会議システムを活用し、What ~ do you like?や I like ~.を使ったコミュニケーション活動を行うことで得られた結果を、児童が他校と交流する機会をもてるようにする。

こうした活動を通して、教員のみならず、児童が将来的に同じ中学校へ進学することを少しずつ意識できるようにするだけでなく、学校の枠を超えた活動を通して児童がコミュニケーションを図ることのよさを実感できるようにしたい。併せて、このような「小小連携共通単元」について中学校と情報交換をすることで、小学校外国語活動に対する中学校教員の理解を図るとともに、児童の中学校入学後の指導に活用できるようにしていきたい。

9 単元計画（全4時間） ※㊦マーク及び下線部は、小小連携の視点に基づく活動とする。

時	目標と主な活動	評価の重点			使用表現	
		関	慣	気	表現	語彙
1	<p>英語での色や形の言い方を知り、日本語と英語の音の違いに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 色や形の英語での言い方を知る。 <p>㊦好きな T シャツのデザインについてのビデオとテレビ会議システムを通じたインタビューを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Play: 集中力ゲームをする。 p.11 Let's Chant: "What color do you like?" を言う。 振り返りをする。 			○	<p>Hello.</p> <p>Good morning/ afternoon.</p> <p>How are you?</p> <p>I'm ~.</p> <p>Do you like ~?</p> <p>Yes, I do.</p> <p>No, I don't.</p> <p>What do you like?</p>	<p>色 ; color,</p> <p>green, white,</p> <p>yellow, red,</p> <p>blue, purple,</p> <p>black, orange,</p> <p>brown, pink,</p> <p>形 ; rectangle,</p> <p>shape, circle,</p> <p>triangle, oval,</p> <p>star, heart,</p>

2	<p>好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.11 Let's Chant: "What color do you like?" を言う。 ・ p.19 Let's Listen②:だれがどの T シャツを好きかを聞いて、番号を書き入れる。 ・ Let's Play:ステレオゲームをする。 ・ Let's Play:カルタ取りゲームをする。 ・ 振り返りをする。 	○	○		<p>What ~ do you like? I like ~. Good bye. See you.</p>	<p>スポーツ ; sport, soccer, volleyball, basketball, pingpong, table tennis, tennis, baseball, swimming,</p>
3	<p>友だちと好きなものを尋ねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.11 Let's Chant: "What color do you like?" を言う。 ・ Let's Play:おはじきゲームをする。 ・ Let's Play:ラッキーカードゲームをする。 ・ テーマを決め、インタビューシートを作る。 ・ 振り返りをする。 	○	○			<p>果物 ; fruit, apples, pineapples, grapes, peaches, cherries, melons,</p>
4	<p>好きなものについて、積極的に友だちと尋ねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.11 Let's Chant: "What color do you like?" を言う。 ・ Activity:自分のテーマについて、友だちにインタビューをする。 ・ インタビュー結果を整理して、交流する。 ① <u>テレビ会議システムを通して、他校と互いの結果を交流する。</u> ・ 振り返りをする。 	○				<p>kiwis, 動物 ; animal, dogs, cats, giraffes, monkeys bears, elephants, tigers, lions</p>

<第1時の活動>

(1) 目 標 英語での色や形の言い方を知り、日本語と英語の音の違いに気付く。

(2) 展 開 ※網掛け部分は小小連携の視点に基づく活動とする。

時	児童の活動	担任の活動	・指導上の留意点, ●準備 ◎評価の視点【観点】(方法)
3分	○挨拶をする。 ・名札を配る。 Hello.How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy. ・本時のめあてと活動について知る。	・児童と挨拶をしながら、名札を配る。 Hello.How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。	●児童用名札 ・相手の目を見ながら、自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
色や形の英語での言い方を聞こう			
8分	○歌を通して、色や形の英語での言い方について知る。	・歌 “I Can Sing a Rainbow.”を色や形の英語での言い方に注意して聞くように伝える。 ・出てきた色や形について、絵カードで黒板に提示する。	●“I Can Sing a Rainbow.”の歌のCD ●色・形の絵カード ・繰り返し歌を聞くことで、歌に出てくる色や形の英語が、外来語として日本語の中で使われている色や形の言い方とは違うことに児童が気付くようにする。 ◎色や形の英語での言い方と外来語として日本で使われている言い方との違いについて、気付いたことを発表したり振り返りカードに記入したりしている。 【気付き】<発言観察、振り返りカード点検>

15分	<p>○ビデオとテレビ会議システムを使ったインタビューを視聴する。</p> <p>○単元のゴールの活動を知る。</p>	<p>・p.18, 19 の絵を電子黒板で示しながら、誰がどのTシャツを好きなのかを当てるように伝える。</p> <p>・“What color do you like?”や“What shape do you like?”と尋ねたり，“I like ~”と答えたりする様子を見て、児童がどのTシャツを好きなのかを考えられるようにする。</p> <p>・この單元では，“What ~ do you like?”という表現を使って、友だちにインタビューし、「好きなものランキング」を作ることを知らせる。</p>	<p>●p.18, 19 の電子黒板</p> <p>●インタビュービデオ</p> <p>●テレビ会議システムの起動</p> <p>・初めは、校内の教職員のインタビュービデオを使用する。</p> <p>・その後、テレビ会議システムを通じて、指導者が別の学校の教員とインタビューし合うことで、児童が別の学校でも自分たちと同じ学習をしていることを意識できるようにする。</p> <p>・児童の様子を見ながら、もう一度尋ねたり、キーワードを強調して言ったりするようにする。</p> <p>・単元の終わりには、互いの学校でどんな「好きなものランキング」ができたかを再びテレビ会議システムで交流することを伝え、児童が單元を通して意欲をもって活動できるようにする。</p>
8分	<p>○集中力ゲームをする。</p>	<p>・集中力ゲームのルールを知らせ、記憶する英語を言って、ゲームを進める。</p> <p>Let's play <i>Shuchuryoku</i> Game. Remember 4 colors. Are you ready? I like red, blue, yellow and black.</p>	<p>●色・形カルタ</p> <p>・集中力ゲームのルールについては、京都市指導案集のゲームルールブックを参照する。</p> <p>・最初は、色や形だけでカードを並べるようにする。児童がゲームに慣れてきたら、だんだんと色と形の両方を聞き取ったり、記憶する英語の数を増やしたりして、児童が繰り返しゲームに取り組めるような工夫をする。</p>

6分	<p>○p.11 Let's Chant: "What color do you like?"を言う。</p>	<p>・電子黒板を利用して、チャンツをリズムに乗って言えるようにする。 What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow, nice T-shirt!</p>	<p>●電子黒板 ●色絵カード</p> <p>・まずは、どんな表現が出てきたかを聞くようにし、出てきた表現や色などを確かめてから、みんなで言うようにする。 ・本時だけでチャンツが言えるようにするのではなく、児童が次時の活動で戸惑うことがないように、チャンツのリズムに親しむようにする。</p>
5分	<p>○本時の振り返りをする。 ○挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>・振り返りの視点を伝え、振り返りカードを基に本時を振り返るようにする。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>●振り返りカード</p> <p>・色や形の言い方について確認し、本時のめあてにあった振り返りができるように助言する。</p>

<参考>インタビュービデオの内容例

T 1 : Hello! ~ *sensei*.

T 2 : Hello! ~ *sensei*.

T 1 : What color do you like?

T 2 : I like blue.

T 1 : What shape do you like?

T 2 : I like circle.

T 1 : Mmm.....,OK. You like No.8 T- shirt.

T 2 : Yes! That's right!

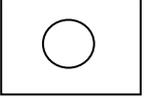
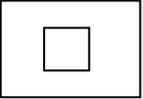
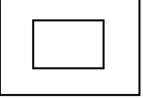
T 1 : It's good/cute/cool.

(Me,too. のほか I like red. や I like star. など別の表現を入れてもよい)

T 2 : Thank you.

※ 児童がこれまでの外国語活動で出会った表現などを、適宜入れてもよい。

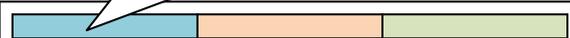
第1時 板書計画

色や形の英語での言い方を聞こう				本時の流れ
色		形		
				
				
				

第1時 電子黒板

すぐに画面が切り替えられるように、起動しておく。

- ① 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
教科学習用ソフト→Hi, friends!1 Lesson 5 p.18,19
- ② 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
教科学習用ソフト→NEW HORIZON 1年 Warm-up 色
- ③ インタビュービデオ
- ④ テレビ会議システム



<第2時の活動>

(1) 目 標 好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

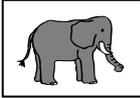
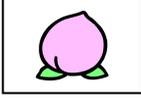
(2) 展 開

時	児童の活動	担任の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・名札を配る。 <p>Hello.How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と挨拶をしながら，名札を配る。 <p>Hello.How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見ながら，自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
好きなものをたずねたり答えたりする表現になれ親しもう			
8分	<p>○p.11 Let's Chant: "What color do you like?"を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を利用して，チャンツをリズムに乗って言えるようにする。 <p>What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow, nice T-shirt!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板 p.20 ●色絵カード・他のカテゴリーの絵カード ・前時での活動を想起し，どんな表現が出てきたかを確認める。 ・児童がチャンツに慣れてきたら，スピードを速くしたり，色の英語を別のものに変えたり，What ~ do you like?の～の部分に他のカテゴリーを入れたりして，児童が繰り返しチャンツの表現とリズムに親しめるようにする。
10分	<p>○p.19 Let's Listen②: だれがどの T シャツを好きかを聞いて，番号を書き入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を操作しながら，児童に音声を聞かせる。 <p>Guess what T-shirt. Colors and shapes are hints. Listen carefully.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板 p.18,19 ・児童の様子を見ながら，キーワードになる英語を指導者が繰り返したり，聞き取りにくそうな様子が見られたら，One more time?などと尋ねたりして，どの児童もデジタル教材の音声を聞きとれるよう支援する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「まず初めは、誰が話しているのかを聞こう」などと声をかけ、児童が何を聞いたらいいのかわかるように聞く視点を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く視点を伝え、児童が注意深く聞くことができるようにする。電子黒板の㊤のボタンをクリックすると、どの人物が話しているのかがわかるので、誰が話しているのかがわかれば、その人物をクリックして、音声を聞かせてもよい。 ◎デジタル教材の色や形の音声の「誰がどのTシャツが好きなのか」を聞いて、Hi, friends!に書き入れている。 【慣れ親しみ】＜行動観察, Hi, friends!点検＞
8分	<p>○ステレオゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステレオゲームのルールを知らせ、児童が好きなものを尋ねたり答えたりする表現を言えるようにする。 <p>5 students, please. Who are volunteers? Everyone say “What color do you like?” Every student says “I like ~!” But 5 students say at the same time. O.K.? Listen carefully.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステレオゲームのルールについては、京都市指導案集のゲームルールブックを参照する。 ・大きな声で言わないと、ゲームにならないことを伝える。 ◎何が好きかを尋ねる表現をはっきりとした声で言ったり、好きなものを伝える表現を聞いて答えたりしている。 【慣れ親しみ】＜行動観察, 発言観察＞

10分	<p>○カルタ取りゲームをする。</p> <p>What ~ do you like? I like ~.</p>	<p>・カルタ取りゲームのルールを知らせる。</p>	<p>●色・形カード，食べ物カード，動物カードなど</p> <p>・同じ児童ばかりがカルタを取るのではなく，グループの中でペアを決めて，交互に取ったり，チーム戦にするなどルールを工夫したりして，どの児童も活動に取り組めるようにする。</p> <p>・What ~ do you like?の～に入るものを色や形以外にしたり，児童が表現に慣れてきたら，二つ以上のカテゴリーのカードを混ぜたりして工夫してもよい。</p> <p>・児童が表現に慣れてきたら，指導者が取るカードを言うのではなく，代表の児童が I like ~.と言って，カードを指定してもよい。</p>
5分	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>・振り返りの視点を伝え，振り返りカードを基に本時を振り返るようにする。</p> <p>・挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>●振り返りカード</p> <p>・色や形など，好きなものを尋ねる言い方について確認し，本時のめあてにあった振り返りができるように助言する。</p>

第2時 板書計画

好きなものをたずねたり答えたりする表現になれ親しもう				本時の流れ	
果物		動物			
					
					
					

第2時 電子黒板

すぐに画面が切り替えられるように、起動しておく。

① 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
教科学習用ソフト→Hi, friends!1 Lesson 5 p.18,19



<第3時の活動>

(1) 目 標 友だちと好きなものを尋ねたり答えたりする。

(2) 展 開

時	児童の活動	担任の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・名札を配る。 <p>Hello.How are you? I'm good/hungry/ O.K./sleepy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と挨拶をしながら、名札を配る。 <p>Hello.How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見ながら、自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> さらに、好きなものをたずねたり答えたりする表現になれ親しもう </div>			
5分	<p>Op.11 Let's Chant: "What color do you like?"を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を利用して、チャンツをリズムに乗って言えるようにする。 <p>What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow, nice T-shirt!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板 p.20 ●色絵カード・他のカテゴリーの絵カード ・前時での活動を想起し、どんな表現や英語が出てきたかを確認する。 ・児童がチャンツに慣れてきたら、スピードを速くしたり、What ~ do you like? の～の部分に異なる他のカテゴリーを入れたりして、児童が繰り返しチャンツの表現とリズムに親しめるようにする。 ・児童がコミュニケーションを意識できるように、尋ねる側と答える側に分かれたり、相手と向かい合っ言ったりする。

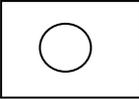
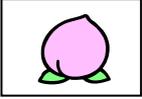
8分	○おはじきゲームをする。	<p>・おはじきゲームのルールを知らせ、おはじきゲームを進める。</p> <p>Please open your textbook to page 14 and 15.</p> <p>Let's play <i>ohajiki</i> game.</p> <p>Put 5 <i>ohajiki</i> on the pictures.</p> <p>Please ask me "what ~do you like?"</p> <p>・I like ~.で出てきたものの絵カードを黒板にはっていく。</p> <p>・ゲームの途中で、出てきている英語を確かめ、その中で児童全員が I like ~.の表現を言うようにする。</p>	<p>●電子黒板 p.14,15</p> <p>●おはじき クラスの人数×5個</p> <p>・以前の単元のページを利用して、ゲームを行う。</p> <p>・おはじきゲームのルールについては、京都市指導案集のゲームルールブックを参照する。</p> <p>・"What ~ do you like?"の~に当たる部分は、カードで引いて決める。</p> <p>・児童の様子を見ながら、聞き取りにくそうな様子が見られたら、One more time?などと尋ねたり、児童の声が小さかったら、Big voice, please.などと声をかけたりして、繰り返し尋ねる表現が言えるようにする。</p> <p>・慣れてきたら、おはじきを除くための I like ~.の表現を児童に言わせてもよい。</p> <p>◎尋ねるものによって、What ~ do you like?の~に入れるものを変えて尋ねたり、その返事を聞いて、おはじきを除いたりしている。</p> <p>【慣れ親しみ】〈行動観察, 発言観察〉</p>
8分	○ラッキーカードゲームをする。	<p>・ラッキーカードゲームのルールを知らせ、ラッキーカードゲームを進める。</p>	<p>●カルタカード</p> <p>・相手にわかるように尋ねたり、答えたりすることが大切であることを伝える。</p>

		<p>《ラッキーカードゲームのルール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの真ん中に、カードを広げて置いておく。 ・ジャンケンを行い、勝った人は右隣の人に、What ~ do you like?と尋ねる。 ・尋ねられたら、I like ~.と答える。 ・尋ねた人は、そのカードを取り、Here you are.と言って渡す。 ・もらった人は、Thank you.と言って、カードをもらう。そして、今度は、更に右隣の人に、What ~ do you like?と尋ねる。 ・それを繰り返し、カードがなくなるまで続ける。 ・全てのグループが終了したら、指導者がラッキーカードを発表し、そのカードをもっていた人が勝ちとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの声が小さかったり聞き取りにくかったりした場合には、One more time, please.と言ったり、Big voice, please.と言ったりして、もう一度尋ねてもよいことを伝える。 ・カードがなくなるまで続ける時間がない場合は、先生の合図があるまで続けることとする。 <p>◎何が好きかを尋ねる表現を言ったり、好きなものを答えたりして、カードをやり取りしている。</p> <p>【慣れ親しみ】〈行動観察、発言観察〉</p>
15分	○「好きなものランキング」のインタビューシートを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「好きなものランキング」のインタビューシートの作り方を知らせる。 ①自分の好きなテーマを決める。 ②そのテーマに沿って、8つの選択肢を作る。 ③文字ではなく、絵で表すようにする。絵を描くのが苦手な児童は、絵や写真などをはってもよいこととする。 ・次の時間に、このシートを使ってインタビューすることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビューシート ・これまで使った色、形、フルーツなどのほか、自分の好きなものをテーマに挙げてよいこととする。 ・テーマによっては、選択肢が8つに満たない場合もあるが、できるだけたくさんの選択肢を見つけるようにする。 ・時間内に完成しなかった児童も、次時まで準備できるように伝える。

5分	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○挨拶をする。 Thank you.</p>	<p>・振り返りの視点を伝え、振り返りカードを基に本時を振り返るようにする。</p> <p>・挨拶をする。 Thank you.</p>	<p>●振り返りカード</p> <p>・児童が次時のインタビュー活動に見通しをもって本時の活動を振り返り、本時のめあてに沿った記述ができるようにする。</p>
----	---	--	---

第3時 板書計画

さらに、好きなものを尋ねたり答えたりする表現になれ親しもう

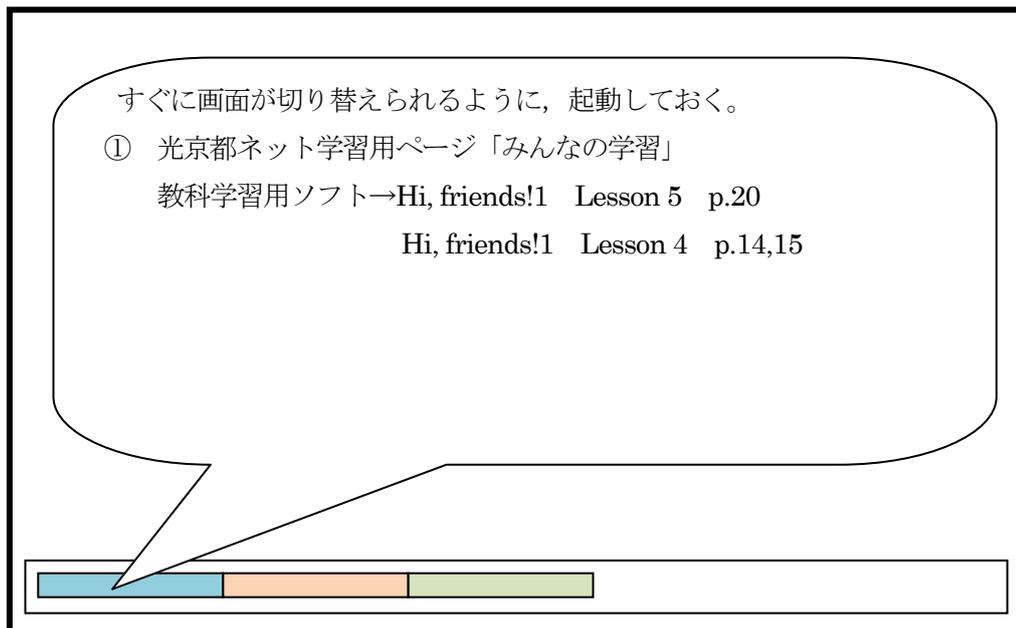
			
			
			

本時の流れ

インタビューシート例

<input type="text"/>	Ranking	<input type="text"/>	<input type="text"/>

第3時 電子黒板



◎インタビューシートの作成について

自分の決めたインタビューのテーマ
を書く。日本語でよい。

"Hi, friends! 1" Lesson 5 インタビューシート

		Class	Name
Ranking			
○	○		
正			

Annotations:

- Arrow pointing to the "Ranking" title: 選択肢の絵などを入れる。
- Arrow pointing to the "正" (Correct) label: インタビューした結果を書き入れる。

<第4時の活動>

- (1) 目 標 好きなものについて、積極的に友だちと尋ねたり答えたりする。
 (2) 展 開 ※網掛け部分は小小連携の視点に基づく活動とする。

時	児童の活動	担任の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・名札を配る。 <p>Hello.How are you? I'm good/hungry/ O.K./sleepy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と挨拶をしながら、名札を配る。 <p>Hello.How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見ながら、自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">積極的に友だちと好きなものを尋ねたり答えたりしよう</div>			
5分	<p>○p.11 Let's Chant: "What color do you like?"を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を利用して、チャンツをリズムに乗って言えるようにする。 <p>What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow, nice T-shirt!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板 p.20 ●色絵カード・他のカテゴリーの絵カード ・スピードを変えたり、様々なカテゴリーを入れたりして、これまで慣れ親しんだ表現や英語を言うようにする。 ・児童がコミュニケーションを意識できるように、尋ねる側と答える側に分かれたり、相手と向かい合ったりして言う。
15分	<p>○Activity:自分の決めたテーマについて、友だちにインタビューをする。</p> <p>What ~ do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの仕方を知らせ、デモンストレーションをする。 <p>T1: Hello. S1: Hello. T1: What sport do you like? S1: I like basketball. T1: Thank you. S1: What animal do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビューシート ・人にインタビューするときのマナーを考え、どのようにすれば、相手と気持ちよくコミュニケーションができるかを確かめる。

	<p>I like ~. Thank you. Bye.</p>	<p>T1: I like dogs. S1: Thank you. Bye. T1: Bye.</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の声が聞き取りにくかったり、わからなかったりしたら、“One more time, please.”, “Big voice, please.” と言って、もう一度尋ねてもよいことを伝える。 前半の活動時間を知らせる。 一旦、活動を止め、うまくやりとりしている児童を紹介して、実際のコミュニケーションのモデルを示す。 後半の活動時間を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの人にインタビューをして、好きなものランキングを完成するように伝える。 児童が見通しをもって活動するために、活動の終了時刻を示す。音楽をかけて、合図をしてもよい。 声の大きさや表情など、代表の児童のどこがよいのかを児童が考えられるようにする。 <p>◎絵を指さしたり相手の反応を伺ったりしながら、積極的に互いの好きなものについて交流しようとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度】〈行動観察，発言観察，インタビューシート点検〉</p>
8分	<p>○インタビューした結果を整理して、グループで交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシートの結果を確認し、「正」の字を書き入れた部分に順位を書き入れ、付箋紙をはるように伝える。 グループで、互いのランキングシートを示しながら、交流する。 <p>S1: What flower do you like? S2: I like red flower. S3: I like purple flower. S4: I like yellow flower. S1: Purple flower is No. 1.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビューシート ●付箋紙 <ul style="list-style-type: none"> ジャンケンで勝った人から、グループの人に尋ねていき、互いの結果を交流するようにする。

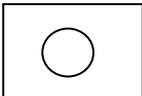
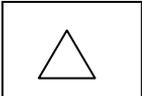
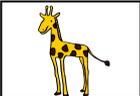
10分	<p>○テレビ会議システムを通して、他校と互いのインタビュー結果を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が声をかけながら、全員で挨拶をする。 ・どんなランキングができたか、代表の児童が、カメラの前でインタビュー結果を発表するよう促す。 ・相手の声が小さかったり聞き取りにくかったりした場合には、“One more time, please.”, “Big voice, please.”と言って、もう一度尋ねてもよいことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビューシート ●テレビ会議システム ・同じテーマでインタビューした児童が他にいないか尋ね、同じテーマでインタビューしていても最初の選択肢が異なることや、インタビューに答えた人によって結果が異なることに気付くようにする。 ・指導者間で、事前に互いの学校の児童が取り上げたテーマを交流しておき、自校にないものを取り上げ、交流できるようにする。
5分	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○挨拶をする。 Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を伝え、振り返りカードを基に本時を振り返るようにする。 ・挨拶をする Thank you. 	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りカード ・児童が自分のインタビュー活動について振り返ることができるように、本時のめあての視点を示す。 ・単元を通して、感じたこと・考えたことを記入してもよい。

第4時 板書計画

積極的に友だちと好きなものを尋ねたり答えたりしよう

本時の流れ

色
形
動物
スポーツ
果物

インタビューシート例

	<i>Ranking</i>	Class	Name

第4時 電子黒板

すぐに画面が切り替えられるように、起動しておく。

① 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
教科学習用ソフト→Hi, friends!1 Lesson 5 p.20

② テレビ会議システム

◎インタビューシートの作成の仕方

"Hi, friends! 1" Lesson 5 インタビューシート

Ranking

Class	Name
-------	------

		選択肢の絵などを入れる。	
正 一	正 正 ①		
インタビューした結果を書き入れる。	順位を書く。	数と順位がわからないように付箋紙を貼る。	

Hi, friends! 1 Lesson 5 What do you like?

友だちにインタビューをしよう  Name ()

時間	めあて	Your Impressions
1	英語の色や形の言い方を聞こう	<p data-bbox="678 421 909 504">☆☆☆</p> <p data-bbox="678 672 949 705"><i>Teacher's comment</i></p>
2	好きなものをたずねたり答えたりする表現になれ親しもう	<p data-bbox="678 786 909 869">☆☆☆</p> <p data-bbox="678 1037 949 1070"><i>Teacher's comment</i></p>
3	さらに,好きなものをたずねたり答えたりする表現になれ親しもう	<p data-bbox="678 1151 909 1234">☆☆☆</p> <p data-bbox="678 1397 949 1431"><i>Teacher's comment</i></p>
4	積極的に友だちと好きなものをたずねたり答えたりしよう	<p data-bbox="678 1516 909 1599">☆☆☆</p>
<u>Lesson 5 全体を通して</u>		<i>Teacher's comment</i>